

11月5日の日本株の急落について

今回の急落は中長期的な上昇トレンドのなかでの調整局面

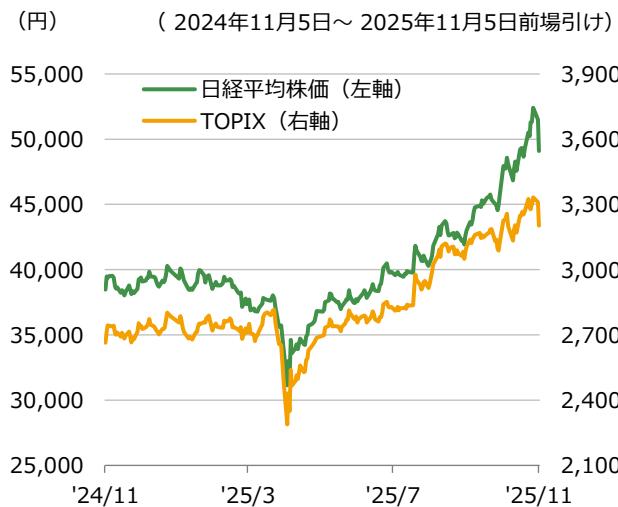
2025年11月5日

高市政権の経済政策や日本株の株主還元強化などに注目

11月5日の日経平均株価は前場引け時点で前日比2,393円（4.65%）安となり、5万円の大台を割り込みました。大幅続落となった理由として、①直近の急騰による過熱感があげられます。日経平均は10月に月間で7,478円（約17%）もの上昇を記録し、過去最大の上げ幅となりました。②米国市場の不安定な動向も日本の株価下落に影響しました。11月4日の米国株式市場は米系投資銀行や大手運用会社のCEOが株式市場の過熱感を指摘したこともあり、AI・ハイテク銘柄中心に下落しました。加えて、③日米首脳会談や高市政権の経済成長戦略など、政治イベントや政策に対する期待先行の買いが一服したことも要因だと考えています。特に、AI・半導体関連の値がさ株に資金が集中する「偏った物色」が続いていたため、これらの銘柄が下落したことで特に日経平均株価への影響が大きくなりました。実際、より市場全体の値動きを反映するTOPIXは前日比3.25%の下落（11月5日前場引け）にとどまっています。

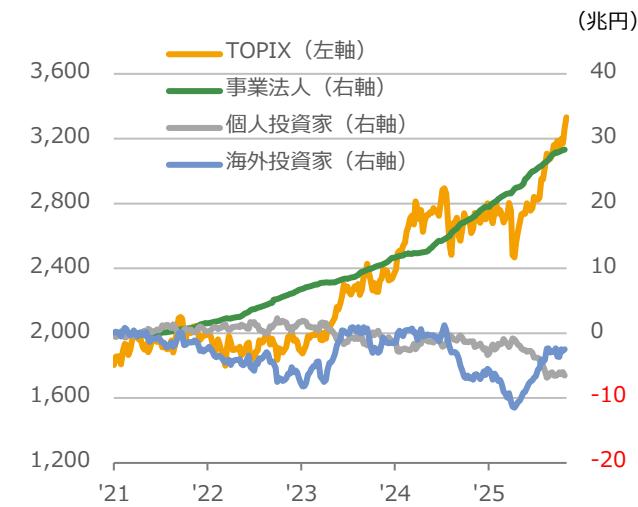
日本株はこれまでの上昇速度が速かった分、短期的にはボラティリティが高まる可能性があり、また米国のAI・ハイテク株が調整する局面では、日本株も影響を受ける可能性があります。ただし、構造変化や政治への期待を背景に、日本株は引き続き中長期的な上昇トレンドの中にあると考えており、今回の急落は短期的な調整局面にとどまるとしています。高市政権による経済政策の具体化や、7-9月期決算における好業績およびガバナンス関連の発表が市場に安心感を与えるか、注目しています。

株価指数の推移



(出所) ブルームバーグ

TOPIXと投資部門別売買代金



※全て週次データ。TOPIXの直近値は2025年10月31日

※投資部門別売買金額（事業法人は現物株のみ、個人投資家と海外投資家は先物を含む）は10月24日の週までの累計金額

(出所) QUICKより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧説を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指標・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management